Caddo medama Kishidaありたり。只今の處福井縣産蟇蛛の王者として玆に特記したり。

本種は福井縣大野郡和田山の和田池附近のブナの原始林落葉上に於て♀1頭採集せり。本ザトウムシの特異點は眼丘が頭胸部の背甲全面を占めて居るもので，和名も眼丘の形にちなんで岸田先生が命名なされしものと考へらる。本邦に於て採集せる記錄も甚だ少なく採集數も今回の1頭を加へて僅かに7頭で本種を觀た者さへも岸田先生と丹羽彌氏の二人のみであるもの岸田先生のお話である。最初の發見地は丹後舞鶴附近で岸田先生の採集にかかるものなり。御多忙中御査定を賜はりたる岸田先生並に植村利夫氏に謹んで深謝の意を表するものである。尙其の他の採集せしザトウムシを掲げて置く。

Fam. **Epedanidae** タンゴムシ科

Pseudobiantes japonicus Hirst	タンゴムシ

Fam. **Phalangiidae** ザトウムシ科

Liobunum curipalpi Roewer	ユミヒゲザトウムシ
Liobunuu luteum Kishida	モエギマメザトウムシ
Nelima valida Kishida	コハザトウムシ
Nelima globulifer Kishida	ムカゴザトウムシ
Gagrella japonica Roewar	ヒトハリザトウムシ
Melanopa tibialis Kishida	メスナガザトウムシ
Siva modesta Kishida	シハザトウムシ
Bicnia delicata Kishida	ヒメザトウムシ
Systenocentrus japonica Hirst	ゴホンヤリザトウムシ

（昭和11年10月5日認）

前號口繪訂正

第三號口繪上段右の寫眞の說明をフノシグモの卵囊としておきましたが，これは編輯者の間違ひで，種名不詳のものだとの事でしたので，こゝに訂正しておきます。

（植村記）